

# 若者の奉仕活動「参加を」

## 県内の7ローター アクトクラブ 諏訪地方で会員増へPR



諏訪市内の旅館でPR活動をするローターアクトクラブ会員

県内七つのローターアクトクラブで構成する国際ロータリー第二千六百地区ローターアクト(山崎健一地区代表)は二十五日、会員増加のためのPR活動を諏訪地方で行った。各クラブの会員約三十人が参加。店舗や飲食店などにチラシを置いてもらい、活動への理解と参加を呼び掛けた。

(尾崎一幸)

同クラブは国際ロータリーが次世代の人材育成を目的に、一九六八年に設立した。十八―三十歳

の若者が奉仕活動や仲間同士の親けくを深める活動を行っている。県内に約百人いるが、減少傾向にあるという。中でも会員数が少ない諏訪地域で、会員増に向けた合同活動を行った。

この日はメンバーが諏訪市文化センターに集合し、四班編成で諏訪、茅野、岡谷の各市と下諏訪町を回った。若者が集まりそうな店舗や施設を訪問し、活動の趣旨を説明しながら勧誘チラシを置いてもらった。

地区広報委員長の鈴木智子さん(大町市)は「私自身にとってもローターアクトは人間的に成長できる場だった。そのことを多くの人に知ってもらい、参加してほしい」と話していた。